「第3次 二宮町障がい者福祉計画」に対する意見募集の実施結果 (意見と町の考え方)

募集期間 令和7年1月6日(月)～ 令和7年2月5日(水)

意見数 : 7件

意見提出人数 : 2人(電子メール3件/電子申請4件)

意見の概要及び町の考え方 ※提出されたご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約しています。

No	意見の概要	町の考え方
1	<p>知的障害に対して 妊産婦および乳児への育成、教育指導などは適切に行われているのでしょうか。 生まれつきの発達障害の他に、育成環境が影響している障害もあるのではないかと思います。 育成本などに頼りっきりにならないよう適切な乳児の育て方などはどうなっているのか気になっています。</p>	<p>町の「こども家庭センターにのほぐ」では、母子健康手帳取得時に妊婦の方全員との面談や、出産後にも全ての家庭へあかちゃん訪問に伺うなど、顔の見える関係を築き様々な相談に応じています。 また、成長に従い乳幼児健診などを通じ、お子さまの発達が気になる方には、心理士等専門職が配置された親子教室や発達支援教室などへお誘いしたり、専門機関につなげるなど子育てをサポートしています。 ※基本目標3(1) 療育・保育・教育における支援の充実</p>
No	意見の概要	町の考え方
2	<p>精神障害に対して 心身症が一定期間続いたり、過度なストレスから障害認定を受けるケースが多くなっていると感じています。 個人にも一生の問題でもありますが社会的にも大きな問題となっています。 「いのちのほっとライン@かながわ」や、「こころの相談窓口」などがホームページで紹介されていますが、センターに引き継ぐまでのサポートなど、より身近な顔のつながる相談者は心強いのではないかと思います。 ホームページの作りでも町の積極性が感じられません。改めるべきではないでしょうか。</p>	<p>障がいのある方は、その方の家族構成・年齢などにより悩みを抱える場面が異なります。就労や福祉、健康など、町のケースワーカーや保健師等の専門職が訪問や電話にてその方の悩みに向き合い支援をしています。 また、全職員がゲートキーパー研修を受講しており、庁内各課の窓口で悩みや問題を抱える人を把握した場合は、専門職と連携をとり相談につなげています。 ホームページについては、より見やすく伝わりやすい構成について検討していきます。 ※基本目標2(3) 相談支援・情報提供の充実</p>
No	意見の概要	町の考え方
3	<p>障がい者の移動支援について タクシー券の補助を拡大すべきです。予算余りがあるというのは使いにくいから、使い切れないだけです。</p>	<p>タクシー利用料助成事業は、障がいのある方の社会参加を促すものとしての位置づけになります。使用枚数について引き続き検討していきます。 ※基本目標2(2)⑦ 在宅重度障害者タクシー利用助成</p>

No	意見の概要	町の考え方
4	就労状況について、どれくらいの方がどこで、どのような種別の施設で就労されているかが示されていると、就労についての意見・要望について、より理解ができます。ぜひ、統計データに加えてください。	就労支援については、福祉的サポートやハローワークにおける窓口相談、職業訓練校等による専門的技術の習得など様々であり、こういった相談や支援をもとに企業等に雇用されるため、手帳を所持されている方全員の状況を把握することは難しい状況です。
No	意見の概要	町の考え方
5	P21には、「将来的な介助者の有無」の不安に触れているが、町として進めたい方向は何かあるのか？例えばグループホームを拡充するとか、在宅で介助・支援を強めるとか・・・。	県は「施設入所からの地域移行」という方針を示しており、地域の受け皿となるグループホームの拡充は重要と考えています。グループホームは県の認可になりますので、町としては、湘南西部保健福祉圏域の3市2町で協力し、事業者との情報交換や県への要望などの取り組みを行っていきます。
No	意見の概要	町の考え方
6	P32の「ふれあい福祉大会などの開催」は、前後との関係で「ふれあい福祉大会開催など、多くの住民との交流機会を拡げる」としたらどうでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 下記の通り変更させていただきます。 ②「ふれあい福祉大会」等の開催 ↓ ②多くの住民の交流を広げる「ふれあい福祉大会」等の開催
No	意見の概要	町の考え方
7	P39の「町独自の障がい者手当のあり方」について、「町独自」とはどのようなものになるのでしょうか。	町独自の手当等は以下の通りになります。 ・ 障害者福祉手当 ・ 障害者医療費助成（県補助対象を除く） 今後については一律給付型の助成制度から必要な方へ必要な支援を届ける持続可能な施策に向け研究・検討を進めてまいります。